

2 学年だより

魚津市立西部中学校
2 学年だより 第 4 号
令和 7 年 7 月 2 3 日（水）発行

夏休みに向けて

保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、生徒たちは、7 月 2 5 日より長い夏休みに入ります。規則正しい生活をするこ、交通事故や水難事故、SNS の使い方等には十分留意していただき、生徒たちが 2 学期も元気に登校できるよう、ご協力よろしくお願ひします。

「14 歳の挑戦」を終えて

<医療・福祉>

私はこの体験を通して、働くことの楽しさややりがい、難しさを学ぶことができました。今まで働くという体験をあまりしてこなかったので、自分がしたことに対して、お客様が喜んでくださるということに、今までとは少し違う大きなやりがいを感じました。しかし、楽しいことばかりではなく、仕事をする上で、未経験のことに戸惑ったり、仲間と協力する難しさを実感したりすることも多々ありました。そんな困難もあったからこそ、やりがいを感じた部分があったと思います。今回の職場体験では、お客様もスタッフの方々も、私たちが中学生だと思って、優しく接して下さっていたので、本当に社会に出て働くということは、もっと難しいことだと思います。自分たちが働くだけでなく、実際に働く現場を間近で見ることができてよかったです。

<小売業>

体験を通して、体力的な疲れ以外にも、指示を正確にすること、常にお客様にあいさつをするなど、働くことの大変さを学びました。また、自分が客として利用しているときには気付かなかった、気持ちのよいあいさつや、会社の利益よりも目の前のお客様を第一としてお仕事をされていること等も学びました。また、お店の方を見ていて、仕事をする上ではコミュニケーションがとても大切なのではないかと考えました。お客様からの質問に答えること以外にも、従業員同士で活発なコミュニケーションをとることは仕事の効率を上げる一つの要因になっていると思いました。

<農業>

この 5 日間の体験を通して、農業の奥深さと重要性を実感しました。自然と向き合いながら作業を行う、農業の大変さを学びました。また、農作業には計画性や忍耐力、協力の精神が必要だと感じました。天候や作物の成長状況に応じて、仲間と協力して作業を進めることの大切さも理解しました。さらに、地域の方々と交流する中で、農業が地域のつながりを支える基盤になっていることにも気付きました。農業を続けていくためには、伝統や知識を次世代に伝えることも重要だと感じました。

<保育>

保育園での職場体験を通して、子どもたちと接することの楽しさや大変さを知ることができました。最初は、子どもたちがすごく緊張していて、接するのが難しかったけれど、先生や子どもたちが優しく話しかけてくれたり、一緒に遊んだりして慣れることができました。子どもと遊んだり、一緒にご飯を食べたり、本物の保育士さん仕事を間近で見たりする中で、保育士の仕事は体力だけでなく、子ども一人一人の気持ちに寄り添うことが大切だと分かりました。5 日間で学んだコミュニケーションの大切さや相手の立場になって考えることの重要性、周囲に気を配る力、新しいことに挑戦する力など、今後の生活に生かしていきたいです。

《9 月の主な予定》

※変更がある場合はホームページやあんしんメール等でお知らせいたします。

<9 月>

1 日(月)	始業式、実力テスト ※給食あり	2 3 日(火)	登校日 ※お弁当持参
4 日(木)	生徒議会・委員会	2 4 日(水)	体育大会予行
1 0 日(水)	研修会のため 5 限後放課	2 6 日(金)	第 7 9 回体育大会
1 8 日(木)	体育大会練習スタート	2 9 日(月)	振替休業日
	体操服登校期間スタート（～9/26）	3 0 日(火)	体育大会予備日

社会に学ぶ「14 歳の挑戦」活動の様子



